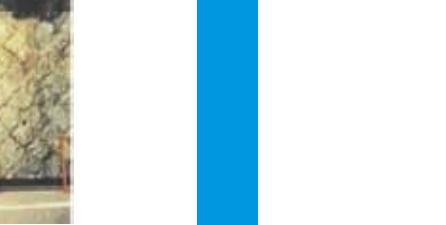
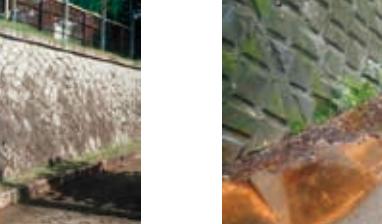
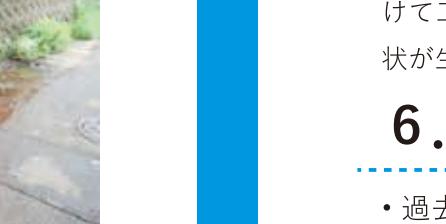
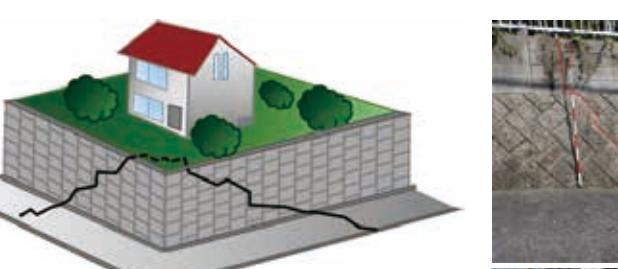
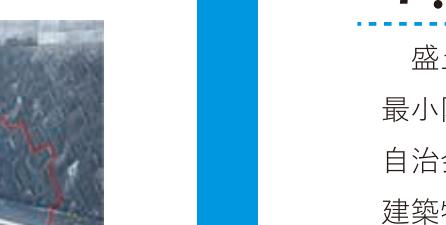


4. 宅地災害の前兆を見極めるためのチェックポイント

- 宅地地盤に亀裂や沈下が見られる。
 - 擁壁の長い区間で変状（ハラミ出しや水平亀裂、縦亀裂）が見られる。
- 
- 
- 
- 宅地地盤の亀裂
- 水平亀裂
- 縦亀裂
- 土や地下水による大きな圧力が働くと擁壁や地盤に顕著な変状が現れます。
- 擁壁や側溝がいつも水のしみ出しにより濡れおり、苔が生えている。
 - 地下車庫がいつもジメジメしている。
- 
- 
- 
- 擁壁の表面がいつも濡れている
- 擁壁から水がしみ出し、苔が生えている
- 盛土内の地下水位が常に高いと滑動しやすくなります。
- 宅地地盤（道路や側溝を含む）や擁壁の変状が連続している。
- 
- 
- 
- 盛土が大きく滑動するような変状が連続的に現れます。



5. 宅地耐震化推進事業・大規模盛土造成地滑動崩落防止事業

宅地耐震化推進事業とは、大規模盛土造成地が滑動崩落することによって生じる被害を軽減するための事業です。川崎市では、被害軽減のために大規模盛土造成地の情報を提供するとともに、大規模盛土造成地の変動予測調査を平成28～30年に実施しました。その結果、調査を実施した全箇所において、大地震に対する一定の安定性が確認されたため、今回の調査では滑動崩落防止工事が必要となる箇所はありませんでした。変動予測調査等の結果、滑動崩落防止工事が必要であると判断された場合は、国の補助を受けて工事を行なうことが基本となります。なお、今後は経年によって新たな滑動崩落の前兆と想定される変状が生じる可能性があるため、経過観察の取り組みを進めています。

6. 各宅地における“適切な擁壁等の維持管理”に向けて

- 過去にあった宅地被害の事例のように、地震や大雨の際、老朽化した擁壁が崩れ、近隣を巻き込んだ宅地被害が発生してしまうことがあります。
- 皆様の財産である家屋や宅地を守るために、宅地所有者の皆様ご自身による擁壁や斜面地の維持管理に努めていただくよう、お願いします。

7. 大規模地震に備えるために

盛土造成による宅地はゆれやすい特性があると言われておりますので、大規模地震から被害を最小限に抑えるために、日頃からの宅地や周辺の擁壁等の状態を点検することが重要です。さらに、自治会等で行われている防災訓練等に参加し、防災意識を高めていただくことも大切です。また、建築物等の、地震保険※に加入することも有効です。

川崎市では、擁壁の改修等の工事に対して、工事費用の一部を助成する「宅地防災工事助成金制度」を運用しています。

※補償の対象は建築物と家財です。詳しくは保険会社にお問い合わせください。

宅地や周辺の擁壁等に変状が確認された場合は「まちづくり局指導部宅地企画指導課」までご相談ください。

お問い合わせ先

川崎市まちづくり局指導部宅地企画指導課
住所：川崎市川崎区宮本町1番地
電話番号：044-200-3035

令和2年3月発行

大規模盛土造成地 マップ



地震に
備える

平成7年の阪神・淡路大震災や平成16年の新潟県中越大震災で、過去に大規模な盛土造成を行った地域が滑動崩落し、甚大な被害が発生しました。また、平成23年の東日本大震災でも被害が発生しており、仙台市では約5,700宅地が被害を受け、宅地が数メートル動きました。発生が懸念されている首都直下型地震などにより、川崎市多くの宅地に被害が生じる可能性があります。

このマップには、市内の大規模盛土造成地の位置や範囲などを示すとともに、関連する事業の概要や地震に備えるための情報などを掲載しました。

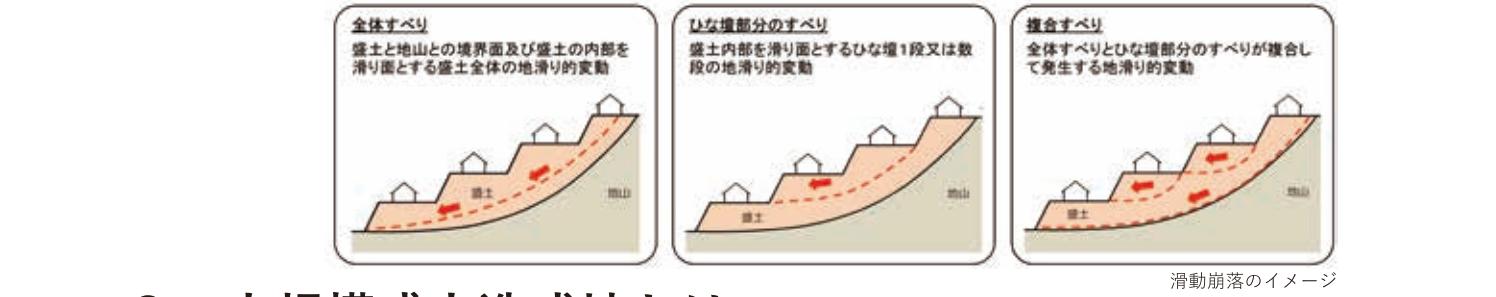
はじめに

大規模盛土造成地マップは、市民のみなさまに大規模盛土造成地の存在を知っていただき、防災意識を高めていただくことを目的として公表しています。滑動崩落による被害を軽減するため、宅地の所有者等（所有者、管理者または占有者）のみなさまが日頃から自らの宅地や周辺の擁壁等に目を配り、点検しておくことが大切です。

このマップを参考に点検することで、滑動崩落など宅地災害の前兆となりうる異常を早く発見することができます。

1. 滑動崩落とは

地震時に盛土全体または大部分が、主として盛土底面部を滑り面として旧地形に沿って流動、変動または斜面方向へ移動することです。



2. 大規模盛土造成地とは

谷埋め型

盛土面積が3,000m²以上の造成地のことです。谷や沢を埋めた造成地であるため、盛土内に水の侵入を受け易く、形状的に盛土側面に谷部の斜面が存在することが多い特徴があります。



腹付け型

盛土をする前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、盛土の高さが5m以上の造成地のことです。傾斜地盤上の高さが高い特徴があります。



国土交通省「宅地耐震化の取り組みに関するパンフレット」より

3. 大規模盛土造成地の抽出方法

新旧の地形図等を重ね合わせることによって大規模盛土造成地を抽出します。川崎市は、宅地造成が頻繁に行われる前の昭和22年に米軍が撮影した航空写真と平成18年度の航空レーザ測量データを重ね合わせることにより大規模盛土造成地を抽出しました。なお、平成18年度以降の大規模盛土造成地については造成許可の履歴より抽出しています。